

〈6年〉

児童のみなさんへ



【家庭学習について】

○家庭学習の時間…毎日60分以上しよう！

（毎日の宿題）

- 音読…正確に読んだり、気持ちをこめて読んだり、すらすら読むなど、めあてをもって練習しましょう。
- 計算ドリルまたはプリント…ていねいに数字を書きましょう。
問題ができたならもう一度見直して確認しましょう。
- 漢字ドリル…書き順、読み、とめ・はね・はらい・とじなどに気をつけてていねいに書いて覚えましょう。
- 読書…毎日10分くらい読書しましょう。
- 自主学習…苦手なこと、興味のあること、大事なこと、くり返し練習など、工夫したノートづくりをしましょう。また問題集をした時は、答え合わせとまちがいなおしまいでして提出しましょう。

自学（自主学習）メニュー

国語（教科書の視写。今までに習った漢字、ローマ字の練習、ことわざ・四字熟語調べなど。）

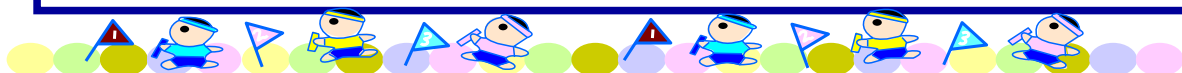
算数（教科書・プリントの復習など）

社会（人物、歴史のできごと、文化などの調べ学習。

歴史遺産に関するもの、政治・経済などの新聞記事のまとめ

（地図、都道府県を覚える。）

理科（教科書やノートを見てまとめる。おもしろ実験、科学読み物や図鑑『地球・宇宙・生物など』をまとめる。）



【こんなことに気をつけよう】

自学は、目的を持ってやりましょう。

- ┌ 苦手なところを克服する。
- ├ 興味のあることを深めて調べる。
- └ 学習したことを定着させる。

【こんなときには？】

★わからないときは？

◎放っておかないで、辞書・教科書・ノートを見て調べましょう。それでもわからないときには、学校で先生に聞きましょう。

★自主学習ノートの書き方は？

◎自分なりのまとめ方をしましょう。ただし、見やすく、大事な言葉や重要なことには、色をつけるなどの工夫もしましょう。

◎資料・写真などを活用してまとめるとわかりやすくなります。



【特にくり返し学習が大切な内容】

□算数では、分数、小数の計算やいろいろな公式、また、国語では漢字やローマ字をしっかりと覚えてほしいと思います。

い

【こんな宿題が出ています】

□宿題の内容と量について

基本的には、計算ドリルと漢字ドリルの宿題は、基礎・基本の定着をねらいとしています。学習時間は60分を目安にしています。学習の発展としての課題を出す場合もあります。

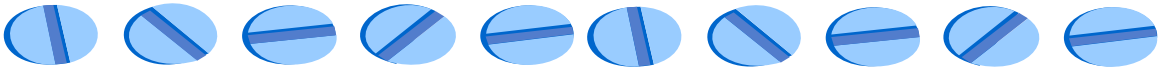
□自主学習の内容と量について

自主学習の内容については、個人によって違ってきますが、30分から40分はじっくりと取り組みます。目的を持つことが大事なので、お家でも相談にのってあげてください。

苦手なものを克服したい→計算、文章題、漢字、ローマ字などドリルや教科書でまちがえた問題をくり返し練習をする。

興味のあることを深めていきたい→図鑑、読み物、新聞などのまとめをする。

学習したことを定着させたい→教科書やノート、プリントのまとめやくり返し練習をする。



【宿題の○つけや間違い直しなどについて】

■計算ドリルの答え合わせについて

計算ドリルの答え合わせは、朝の学習の時などにしています。答え合わせの後には、間違えたところをやりなおして、学習の定着をはかっています。

■漢字の点検について

点検後、間違えた字については、書き直すようにしています。



【お願い】

◇家庭学習時間は、最低1時間です。

「決まった場所で」「決めた時間帯で」学習させてください。

◇家庭学習は集中することが大切です。

家族の協力のもと、テレビを消して、落ち着いた雰囲気の中で学習させてください。

◇家庭学習は自力学習（自学自習）への第一歩！

中学に向けての準備期です。自力学習の習慣をしっかりとつけてほしいと思います。

◇計算ドリルや漢字ドリル、ノートなどを子どもたちが持って帰りますので、宿題とあわせて目を通していただきますようお願いいたします。